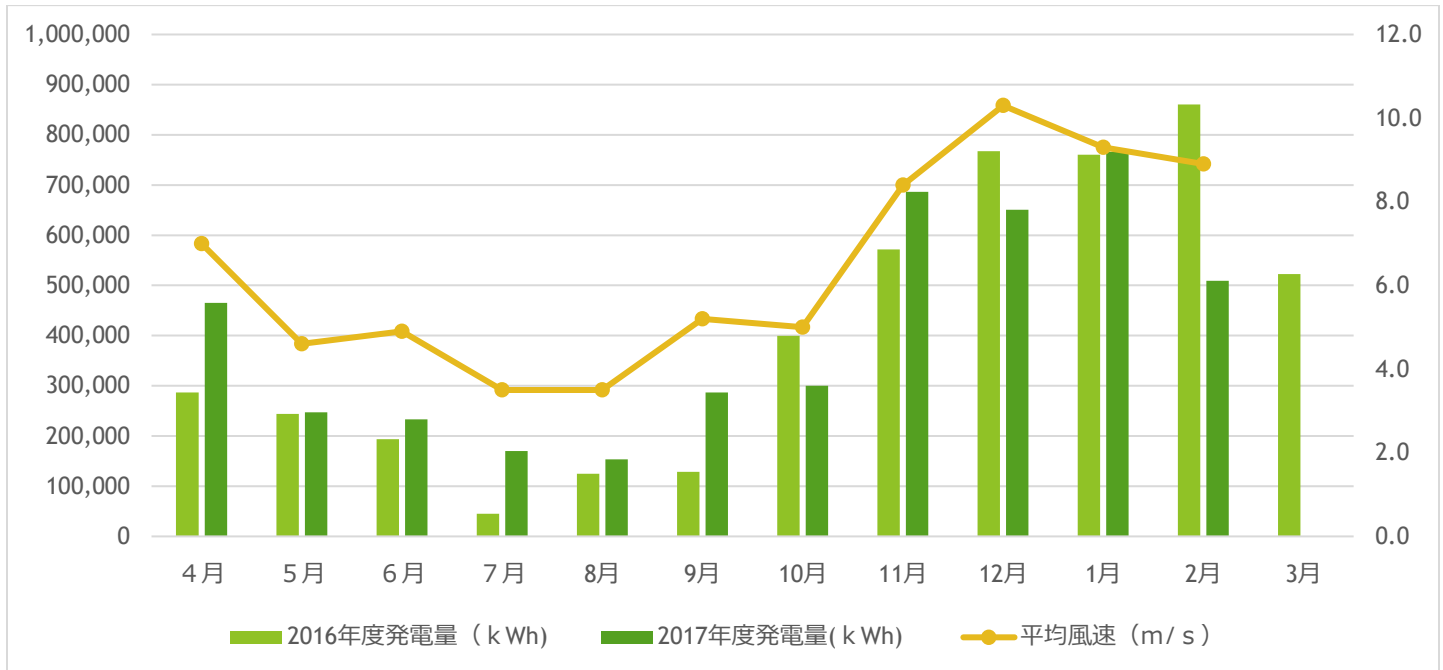


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 西村明子

○ 発電実績



風車「夢風」運転状況について

- 風況は昨年同月に比べ1.4m/s低い実績でした。
2/4～2/9まで東北電力より要請の解列のため運転ができませんでした。
- 2/17に他社製風力電力設備のブレード折損事故が発生したため、2/19に臨時点検を行い夢風には異常のないことを確認しました。
定期点検に加えて臨時点検も必要に応じて行っており、風車が安全運転できるように管理しております。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	465,321	7.0	92.6
5月	247,330	4.6	84.5
6月	233,257	4.9	82.9
7月	170,227	3.5	84.9
8月	153,380	3.5	97.9
9月	286,896	5.2	95.0
10月	300,077	5.0	95.8
11月	686,714	8.4	94.8
12月	650,687	10.3	80.5
1月	766,337	9.3	97.6
2月	509,194	8.9	82.2
3月			

ご当地電力証明の
ロゴマーク

生活クラブエナジーでは昨年より、(一社)全国ご当地エネルギー協会と連携して、「ご当地電力証明」の取組みにチャレンジしています。

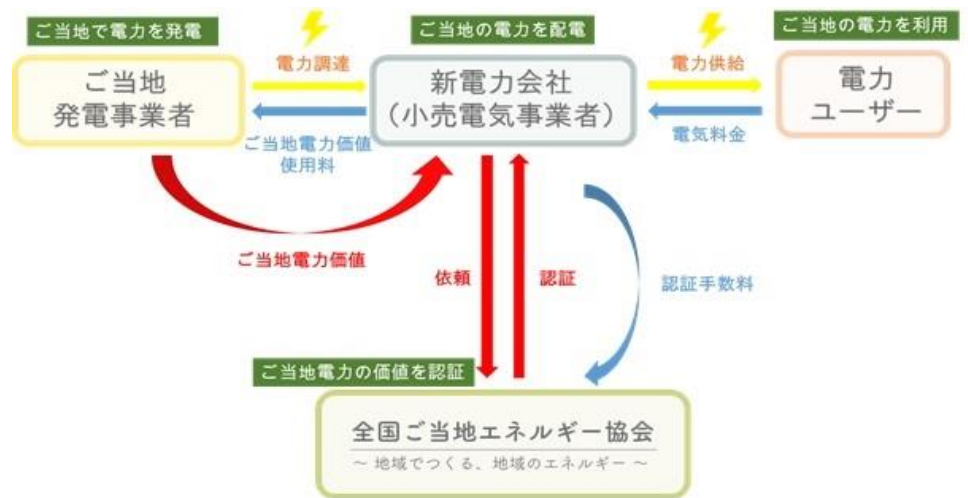
2016年4月から始まった電力小売全面自由化で小売電気事業者の電源構成に着目することに加えて、地域資源を活用した地域貢献に繋がるエネルギーを購入したい、特定の発電所を応援したいという要望があります。

一方、2018年度に開設予定の「非化石価値取引市場」では、「FIT(固定価格買取制度)電気」の環境価値を取引・入手することはできますが、どのような地域で、どのような事業者が発電事業を行っているかなどを把握することはできない仕組みとなっています。

「ご当地電力証明書」認証制度では、電源及び事業者について、地域性・社会性などを第三者委員会が審議し、地域に資する「ご当地電力」を見える化し認証が広がることで、消費者が「ご当地電力」を選択することができる社会を目指しています。

今回第一号として、生活クラブエナジーが契約している、福島県の会津電力株式会社の雄国太陽光発電所、飯舘電力株式会社の伊丹沢太陽光発電所、前田佐藤営農型太陽光発電所の各発電所について、ご当地電力価値認証委員会(委員長 元消費者庁長官)からの承認を受けました。

現段階では、ご当地電力価値は「生活クラブでんき」の一部として生活クラブ事業所や組合員のお宅に広くいきわたる形でスタートしますが、将来的には特徴を活かした新たなメニューづくり等を発電事業者、消費者の皆さんの意見をいただきながら検討していきたいと考えております。どうぞご期待ください。



ご当地電力価値 認証基準より ご当地電力価値基準
ご当地電力価値基準を満たすには、以下の3つの項目のうち(1)を満たし、(2)あるいは(3)の項目に該当しなければならない。

(1)プロジェクトのオーナーシップ
地域の利害関係者がプロジェクトの大半もしくはすべてを所有している。

(2)プロジェクトの意思決定
プロジェクトの意思決定はコミュニティに基礎をおく組織によっておこなわれる。

(3)便益の分配
経済的・社会的便益の多数もしくはすべては地域に分配される。

ご当地電力認証委員会メンバー

阿南 久(元消費者庁長官)

木下徳彦(Lloyd's Register LRQR アセスメントグループプロダクトオーナー・テクニカルリード)

深津学治(グリーン購入ネットワーク事務局長)

吉田明子(FoE Japan 原発・エネルギー担当)

事務局(代表) 飯田哲也(環境エネルギー政策研究所 所長)

教えて！小林さん 風車基礎知識 <風車タワーラベル>

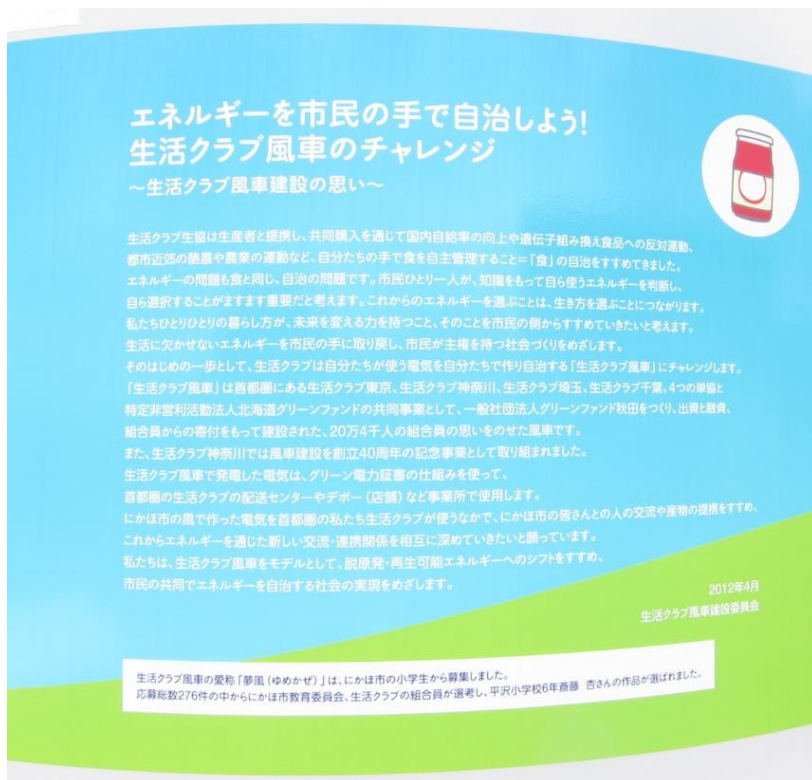
NPO 法人北海道グリーンファンドの小林ユミさんに風力発電の基礎知識を隔月で執筆していただいています。

この連載の第1回では、風車にとって欠かせない「風」について書きました。風を求めて、風車は北や南へ向きを変えます。市民風車の見学に来たこどもたちは、風車の向きが変わると聞いて、驚いてその瞬間を見ようと首を傾けて、風車にとらめっこ。動いても、動かなくても、ワイワイ楽しそうです。もう一つ、興味深く見るのが風車タワーに描かれた、メッセージ、風車誕生に関わった人の名前などです。

みなさんの「夢風」には、爽やかな空色をベースに、「夢風」の大きなロゴ、そして、「エネルギーを市民の手で自治しよう！生活クラブのチャレンジ」と書いてあります。卵やケチャップなど消費材のイラストも散りばめられて、風車見学に来たこどもたちは、「なんで風車に食べ物のイラストがあるのかなあ」って思うかもしれません。生活クラブと風車の関係を語るのにぴったりですね。

出資者の名前が書いてある風車では、自分や友だちと同じ名前を探します。有った、無かったと大騒ぎ。たくさんの方の名前を見て、誰がこの風車の誕生に関わったのか、どうしてこの地に風車が誕生したのか、関わった人の未来への思い、願いを知ると、こどもたちの風車を見る目が変わります。

気候変動、地球温暖化はとても大きな問題ですが、その解決のために、自然エネルギーをつくること、選ぶことは、私や僕にもできる。夢風などの風車を訪れる地域のこどもたちが、そういうことに気が付いてくれるといいなあと思います。そして風車が、懐かしい故郷の景色になってくれることを願っています。



写真上：夢風タワーに書かれたメッセージ
写真左：市民風車かぜるちゃんに書かれた出資者の名前
写真右：市民風車かなみちゃんのタワーに出資者の名前を張る作業
市民風車の写真は北海道グリーンファンド様より頂きました。

編集者より 小林ユミさんの連載は今回が最終回となります。一年間ありがとうございました。

にかほ市情報

にかほ市役所観光課の方になかほ市にまつわる情報を隔月でいただいています。

生活クラブ生協の皆さま、はじめまして。秋田県にかほ市観光課の木原圭一と申します。



今年度、全6回にわたり掲載させていただいた本市の観光情報も今回が最後となります。一年間ありがとうございました。最終回は、本市の春の名所「勢至公園」について紹介させていただきます。

本市には、秋田でも有数の桜の名所であり、市民の憩いの場となっている勢至公園(旧金浦町)があります。公園には、千本にも及ぶソメイヨシノ、その桜の木々に囲まれ、豊かな水をたたえる観音瀧と竹嶋瀧、「水面」と「桜」そして、まだ白雪を抱く「鳥海山」の組み合わせは絶景で、県内で最も早く桜の開花を見ることができるとともに、毎年多くの観光客が訪れます。

勢至公園の桜は、日露戦争に出征した旧金浦町出身の有志が明治40年凱旋記念として植樹したことから始まり、その後の植樹運動の高まりとともに年々本数を増やし、現在の桜並木が完成しました。

また、観音瀧の桜がライトアップされ夜桜を楽しむことができる期間もあります。暗闇に映し出される桜はもちろんのこと、水面に映る夜桜と早春の凛とした空気のコラボレーションは訪れた方を幻想的な世界へ誘います。

皆さまも、春の訪れとともに、ぜひ当市にお越しいただき、勢至公園の桜を一度ご覧になっていただければと思います。

勢至公園 秋田県にかほ市金浦字上林地内

JR 金浦駅より徒歩7分

